



NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN, KANSAI
日本ニュージーランド協会(関西) 創立1970年11月
会報 2010年12月号

第225例会 タウマルヌイ高校との交流

日時・場所:1月9日(日)午前11時「協会事務局」集合 解散は午後4時頃「大阪歴史博物館(NHK)」
当日の連絡先:090-1952-9370 呉橋真人の携帯電話
会費:1,000円(会場費、風代)当日集金。食事飲物は持寄り。博物館入場料は各自。

プログラム:午前11時協会事務局に☆自分の分の白米、あるいはおにぎり、パン☆ご飯のおかず1品をお一人3人分ずつ持ってお集まりください。豚汁を事務局で用意します。NZ風「Pot Luck Party」を事務局下の階の喫茶店アカリマチ借りきりで行います。おかずは、タコウインナー、キンピラ、納豆、肉じゃが、高野豆腐、筑前煮、出汁巻たまご、数の子、かまぼこ他正月のあまりもの、日本の家庭料理は何でも歓迎です(洋風も歓迎)。12時30分に地下鉄で大阪歴史博物館へ移動します。協会事務局の場所がわからない方は地図がホームページの「事業内容」にありますのでご参照ください。ご希望の方へはお送ります。(JR大阪駅から徒歩13分、あるいは大阪地下鉄谷町線「中崎町」3番出口より徒歩2分)

午後1時より☆大阪歴史博物館で連風つくり ☆大阪歴史博物館の見学案内。☆難波の宮跡での連風揚げ。

お申込み締め切り:12月24日(金)までに電話、ファックス、メール、ホームページ等で協会事務局までお申込みください。1月7日(金)よりお取消の場合は会費全額をいただきます。会費の他に交通費と大阪歴史博物館入場料(通常600円、各種割引あり)は各自でお支払いください。

来日学生は15歳16歳の男子3名、女子4名、引率はイアン・フォーロン先生と女性の先生1人。イアン先生はNZの日本語教科書を執筆するほどの先生です。学生は日本語を勉強しています。日本語、英語を交えてNZ人学生に日本の家庭の味と大阪の歴史を紹介してください。大阪歴史博物館内に会議室を借りています。そこでお話や風つくり等を行います。ご近所の中学生や高校生も誘ってみてください。

協会のホームページでイアン先生の「40周年お祝い」ビデオメッセージがご覧になれます。当協会との交流が日本訪問のハイライトになっており、学生の皆さんもとても楽しみにしているそうです。

第224例会 創立40周年祝賀会

ニュージーランド大使館からステファン・コーベット一等書記官ご夫妻をお招きして盛大な祝賀会が催されました。

第223例会とDr.川瀬勇銘板除幕式

クライストチャーチで行われた様子は同封の特別号にまとめました。



事務局:〒530-0028 大阪市北区万歳町3-41 城野ビル 201
電話:(06) 6367 1773 FAX:(06) 6367 1793 makltd@d1.dion.ne.jp
ホームページ www.nzsocietkansai.com

四十周年祝賀会を終えて

会長 呉橋真人

皆様のご協力をいただき無事40周年祝賀会を終えることができました。お楽しみいただけたことを願っております。40年間、多くの皆様に支えられ協会は命をつないでくることができました。天国で音楽を楽しんでいるDr.川瀬と貴誉一氏、天国で女性に人気のドン・クラブ氏、天国で会議のミニッツを作っているユアン・ハンドルビー氏、共に祝いの時を過ごした会員の皆様、ゲストの皆様、ご都合で参加できなかった目瀬様ご夫妻、喜田様、川崎様、山内様、村瀬様、藤野様、貴志様、高野様、佐藤(敏)様、佐藤(好美)様、巽様、服部様、今井様、久木様、輪島様、宮脇様、亀井(宗七)様、西村様、入江様、井上様はじめ会員の皆様、例会には出席する機会がなくとも10年、20年、そして30年以上も会費を納めて続け、会を支えてくださる市田様、南園様、徳永様、村西様、古川様、亀井(学)様、武田様、森田様はじめ会員の皆様、40周年をご自宅で祝ってくださった前田様、増成様、片山様、梓谷様、川瀬(純子)様はじめ旧会員の皆様、祝電をくださったガンと闘うチャレンジングな理事の英様、加古川市長樽本様、リンカーン大学(川瀬博士母校)学長、ロジャー・フィールド様、ビデオレターで登場したタウマルヌイ高校のイアン先生、変わらぬご支援と励ましをくださる藤村家の皆様、40周年記念講演をしてくださったウェリントンの昭子・オーモンドソン様と「NZ牧草牛」のジョン・ハンドルビー様、クライストチャーチで協会ツアー一行を大歓迎してくださったバッジ・ハンドルビー様、スー、ステイブ、セーラ、エミリー・ヒューム様、Dr Kawase ファンクラブ東京支部長、大使館の宮崎様、いつも美味しいラムをお世話くださる ANZCO の金城様、高橋様、サクスマンサンブルなごみの皆様、感動を呼んだ王石明先生、そして協会の危機を收拾し再生をなした柳田名誉会長、今回も見事なチームワークで祝賀会の準備運営を担った理事各位、**私のうっかりでお名前を失念した皆様(お許しください)**、協会を代表して心より感謝申し上げます。出席された中には五十周年、百周年を祝うことになる方もいらっしゃるかと存じます。どうぞ今後とも日本ニュージーランド協会(関西)を末永くよろしく願い申し上げます。

40周年祝賀会参加者名(五十音順、敬称略)

感謝を込めて

Stefan Corbett, Sarah Corbett, Alan Plideaux, 麻生敏子、麻生公裕、荒田利男、石井久行、井上知治、井上ミカ、井上開晟、井上佳子、王石明、小木淑子、奥野佳恵、片波見徳将、片波見敦子、加藤進、川田亜美、神澤朋子、北野和夫、木下和子、行天幸子、行天恭子、呉橋真人、呉橋三郎、呉橋美穂、桑原耕治、小林さや子、近藤純代、佐藤慎平、佐藤真弓、宗佐保、曾我部知子、高橋みゆき、辻裕子、辻村実希、手島雅也、永江真理子、永田美夜子、西川賢一、畑中佳奈子、林園子、林弘子、塙幸子、日高隆義、平戸ヨウ子、富士田忠弘、富士田陽子、藤村琇子、藤村剛、藤村健、藤村智子、藤村 朋香、藤村倫太郎、堀江敏樹、堀江

悦子、牧初代、正木紀通、松村明、松元昇、松元美智子、三浦治郎、三尾谷さち子、水野伸夫、柳弘、柳田勘次、山口まみ、山田輝子、山田実、山田康子、山田璃子、山野敏子、吉田恵、吉田恭子

呉橋会長による開会の辞

「ステファン・コーベット一等書記官閣下、奥様のセーラさん、日本ニュージーランド協会の柳会長、水野副会長、麻生副会長、長老の奥野佳恵様はじめ会員の皆様、そして会員のご家族、ご友人の皆様、藤村家の皆様、ワイカト大学の皆様、大沢ワインの辻村様、本日はようこそ祝賀会にいらっしやいました。心より歓迎申し上げます。

当協会の最大の特徴と誇りは川瀬勇博士が創立者ということです。川瀬博士はニュージーランドへの日本人留学生第一号であり(1931-1934)、自称ハーフ・ニュージーランダー、あるいは King of Japan !

1970年、彼は大阪万博NZパビリオン前で、一人で呼びかけのチラシを配り、日本ニュージーランド(当時関西支部)設立にこぎつけたのです。

彼は日本をニュージーランドのような「乳と蜜の流れる国」にする夢を抱きニュージーランドに学びました。戦時に翻弄されたその生涯にはいくつもの挫折がありました。しかし「人生は喜びに満ちていなければなりません。」が彼のモットー。私は、悲しみ苦しみにうなだれる時、この言葉と彼の大きな微笑みを想い出し首(こうべ)を上げるのです。また、当協会の中興の祖というべき柳田名誉会長の座右の銘は「酒と笑いは百薬の長」です。どうか皆様、本日は食べて、飲んで、笑って、喜びに満ちた一日をお楽しみください。」

ニュージーランド大使館一等書記官 Stefan Corbett さんのメッセージ

The New Zealand Embassy congratulates the New Zealand Society of Japan Kansai on it's 40th Anniversary. Organizations like the Society are the backbone of New Zealand and Japan's strong and longstanding cultural relationship. The tireless work of all your members is gratefully acknowledged and appreciated by the Embassy and the New Zealand Government more widely. I wish you well with your ongoing efforts. Thanks once again for the invitation to participate in the Anniversary event in Kobe. It was a special day and Sarah and I enjoyed very much celebrating the occasion with all your members.

協会創立者川瀬勇博士親族を代表した藤村剛さんのメッセージ

ニュージーランド協会(関西)創立40周年おめでとうございます。

祖父川瀬勇がニュージーランドに渡ったのは1931年ですので、来年で80年になります。私が生まれた

のが1969年、その翌年の1970年、ちょうど大阪で万博があった同じ年にニュージーランド協会(関西)は設立された事になります。40年は、私の人生とほぼ同じ長さということもあり、我が人生同様に様々な事を経験し成長して来たのだろうと推察いたします。組織は立ち上げるよりもそれを維持し発展させる事が困難であるというのは周知のことです、現在の協会の運営を支えている皆様のご努力やご苦勞に感謝を申し上げます。

祖父がニュージーランドに渡った時、日本にその国の存在を知っていた人はほとんど居なかったはずですが、当時の日本人たちが全く知らない遠い南の国で、祖父は多くの人に支えられながら幸せな時間を過ごしその中で、草地学と酪農を学び、多くの良き思い出をもって帰国しました。祖父は生涯ずっと、彼の心の中にニュージーランドへの感謝の気持ちを持ち続けていました。そして、今から40年前に周囲の人々の協力のもと、その感謝の気持ちを一つの形とする事ができました。それがニュージーランド協会(関西)で、この協会の設立の趣旨にニュージーランドと日本の「友好」が掲げられているのは、祖父のそんな気持ちのあらわれなのだと思います。

40年前、依然、ニュージーランドは日本から遠い国でした。多くの人知らない国でした。祖父は、ニュージーランドという国を知ってもらうことが「友好」最初の一步だと考え、地道にこの国を知ってもらう活動を仲間とともに開始しました。40年という時間を経て、現在、ニュージーランドは、当時よりは近くてなじみのある国になったのではないかと思います。

時代の変化にともない「友好」の形も変わってゆくはずですが、知る事、行く事、人々と交流する事、人それぞれ様々な考え方や関わり方があります。皆様方が、それぞれ、自身で友好の形を考え行動する事、それぞれの考えや思いを家族や周囲の人々に伝えてゆく事、それがこの協会を長くより良い組織に成長させてゆくのではないかと思います。

今後も皆様の楽しい思いが伝わり蓄積され、50周年、100周年へと続いて行く事を祈念しております。本当におめでとうございます。

日本ニュージーランド協会(関西)創立40周年記念祝賀会に参加して」

日本ニュージーランド協会 会長
柳 弘



此の度は貴会の創立40周年記念にお招き頂きありがとうございました。神戸外国倶楽部に到着して呉橋会長をはじめ、受付の皆様から、ねぎらいの言葉を頂き、川瀬勇博士の思いを共有した仲間の温かさを感じました。会場の正面に掲げられた40周年祝賀会メインタイトルには、私たちの協会(1959創立)協賛と載せて頂いている、貴会の気配りに感激を致しました。さすが川瀬勇博士の薫陶を40年に亘り引き継がれておられる事と同時に、貴会からの何よりのおもてなしの心が肌身に伝わって参り、大変うれしく感じまし

た。

そして2009年1月、ニュージーランド大使館に於いての当会、創立50周年記念祝賀会の様子が目に浮かんで参りました。当祝賀会には貴会から川瀬勇博士のファミリー、当時1歳の藤村朋香ちゃんをはじめ三世代の皆様と、会員有志の方々が16名もご参加いただきました。此の度の貴会40周年祝賀会に参加させて頂きまして、そのお一人お一人のご好意が身に染みて感じております。改めてご参加いただいた貴会の皆様方に対しまして心より御礼申し上げます。

川瀬勇博士の思いは日本とニュージーランド友好親善を大切にするには先ず、私たちお互いの仲間同士の相互の友好関係の礎を築きなさいと導いて下さっている様に感じました。貴会に於いて、それが見事に実践されている証として「みんなの一言」25秒間、会員各位のスピーチを通してその熱き思いが、私の琴線に触れ、貴会における日頃の楽しいフレンドリーの温もりが伝わってきた素晴らしい祝賀会でした。

今日の出席の皆様方をはじめ、どなたともお話しできる仲間として、これからもお互いに、両国友好親善のためにも相互の交流を大切にして参りたいと思います。これこそ創立者川瀬勇博士から導かれた財産と認識いたしております。

改めて、日本ニュージーランド協会(関西)創立40周年を迎えて、

「創立40周年 今始まりたるすこやかに、明日を待たるる、この宝船」

此の度はおめでとうございます。貴会の益々のご発展を心より祈念いたします。

宗佐保返歌「アラファーを 寿ぎ集う めでたさや」

40周年記念祝賀会式次第

日時:11月28日(日)13:00-16:00

場所:神戸外国倶楽部

司会 副会長 山田輝子

開会の辞 会長 呉橋真人

来賓挨拶 NZ大使館一等書記官ステファン・コーベット様

日本ニュージーランド協会 会長 柳弘様

協会創立者川瀬勇博士 孫 藤村剛(たけし)

乾杯の辞 名誉会長 柳田 勘次

お食事 ご懇談

ミュージック by サックス・アンサンブル なごみ

スターダスト/ いい日旅立ち/スワニー(ガーシュインの曲による JAZZ メドレー)

みなで歌おうマオリソング 伴奏「アンサンブルなごみ」

ポカレカレ アナ ヒネ エ ヒネ
祝賀水墨画パフォーマンス

水墨画家、書道家 王 石明先生
みんな一言（全員が 25 秒スピーチ）
タウマルヌイ高校イアン先生からのお祝いのメッセージ
閉会の辞 副会長 松元 昇
記念撮影 閉会

サククス・アンサンブル なごみの皆さん：
ソプラノサククス:池野 綾子、アルトサククス:松本 珠
希、テナーサククス:栗林 正美、バリトンサククス:永田
寛文

王石明(おう せきめい)先生
水墨画家 書道家 京都市立芸術大学美術学院終了
美術博士、中国青島市 美術家協会理事

スライドショー
10月19日の第223回クライストチャーチ例会の様子、
リンカーン大学での川瀬勇博士記念銘板序幕式の様
子、除幕式に参加した会員の旅の写真、リンカーン大
学で上映された川瀬勇博士の生涯をスライドショーで
流しました

Special Thanks to 「みんな一言」25秒タイムキーパー、
曾我部知子さん(つらい役割ありがとうございました)

当日のメニュー
サーモンのマリネと帆立貝、ブロッコリーのテリーヌ
マッシュルームのスープ
仔羊ロース肉のソテー アーモンドとカレーの風味季
節野菜添え
クリームチーズの焼きプリン ミックスベリーソース
パンとバター
コーヒー又は紅茶
お飲物はバーカウンターにて、ご自由に

会員からの寄稿（皆様の寄稿をお待ちしていま
す）

創立 40 周年おめでとうございます

日本ニュージーランド協会、関西支部創立時の
旧会員 前田 純

もう随分前のことになりますが、私の恩師の桧垣先
生^(註)（聖ルカ看護大学）が、NZに留学されたことがあ
るとお話した時「も少し詳しく…」とおっしゃられてから
…。そこでちゃんと書いた物を探し、やっとみつけました。
ほんの二、三行ですが。

この桧垣先生が東京のNZ協会の話しをして下さり
「ピクニックへ行ったり、パーティーがあったり、講演会
があったり、多くの方にお会い出来たのしいから、関
西にもありますでしょう。参加したら…」と勧めてくだ
さったので、会員の端に加えていただいたのです。はじ
めの頃は男の方が多く、御仕事の事、御商売のことな

どかたいお話が多く、私はまだ若かったのでかりてきた
猫でございました。でも私の全く知らなかった世界を体
験し、珍しいお話をきかせていただき親しくお話し出来
る方も出来、たのしいことでした。ありがとうございました。

注)マーガレット・桧垣マサ さんの略歴
1922年12月23日生（享年71歳）
1953年11月～1954年11月、WHO 奨学生としてニ
ュージーランド留学、同国保健省立 Post School
fro Nurses および Victoria 大学より病院看護管
理、看護婦学校管理と教育心理学専攻の Diploma
を授与された。（いただいた略歴からの抜粋）

前田純様は 40 年前の創立集会の出席者にお名前が
あります。昨年退会されるまで 39 年間の会員、最長記録
の持ち主です。1995 年地震の後、自らも被災者であった
Dr.川瀬は被災した会員全員のお見舞いにいらっしやい
ました。お供した私は、すべての窓とドアが失われたご自
宅の破れた屋根から差す光の中に茫然とされていた前
田様の姿を忘れることができません。（呉橋真人）

「英さんは元気です」

柳田勘次

酷暑の 8 月、当協会理事の英さんから「国立がん
センター中央病院の医師に胆管ガンで三ヶ月の余命
と告知され、手術も抗がん剤の投与も無理だといわれ
ました。9月に退院して千葉県松戸に引っ越します
が、5キロも痩せた」という電話がありました。

ところが、お見舞いに伺った私を英さんは「遠いの
にわざわざ済みません」と元気に出迎えてくれたので、
本当にビックリしました。体重も 5 月のラム肉例会のとき
よりは太り気味で顔色も良いようでした。しかも、お宅に
上がると先ず出てきたのがビールとワインで、奥様と三
人で軽く乾杯ということになり、二度ビックリしました。

手術をして抗がん剤を投与すると、誰でも吐き気
がして食欲は落ちるし、髪の毛が抜けて気力も落ちま
す。しかし、英さんの元気は、松元副会長が送ったニ
ュージーランドのプロポリスと、山田副会長が贈った美
しい生け花と、呉橋会長や宗佐さんの電話に励まされ
て気力と笑顔を絶やさず、免疫力を高めているからだ
と分りました。

また、宗佐さんが描いた港神戸の色紙に、理事全員
が寄せ書きをした額を渡し、私からは胃ガンが転移し
た食道ガンをプロポリスで治した友人の手記と、内田
医師や伊丹医師などのガン関係の本を数冊贈りました。
歳のせいで呉橋会長から預かった観音像を渡し忘れ
て家から送りましたが、これらも英さんの元気の素にな
るでしょう。

もともと、気力と笑顔が Natural Killer 細胞を増殖し、
免疫力を高めてガン細胞を減らすことを日本で初めて
実験したのは、わが友人の伊丹医師です。普通は余
命を告知されると落ち込みますが、私の受け売りを真
っ正直に実践した英さんの偉さを感じました。

ご本人は、胆管のガン細胞はそのままだが機能は正常なので、これからも笑顔で元気に過ごしたいと話されました。また、日本ニュージーランド協会(関西)40周年記念の成功を心から願っているのです、皆さんによりよくお伝えくださいとのことでした。

英さんは今後も松元さんのNZプロボリスで闘病生活を続けますが、ご本人の気力と笑顔が続けばガンの克服は疑いなしですから、当協会の皆さんの温かいご激励をお願いします。

宛名 英 正之 Tel & Fax 047-331-0303
住所 〒271-0092 千葉県松戸市松戸1134 サンタフォンス1102

追記:40周年祝賀会への祝電のお礼と報告を兼ね昨日お電話したところ、とてもお元気で、「**来年のクリスマス例会はぜひ出席して、皆さんと会いたい**」と力強く話されました。

「私とニュージーランドと紅茶」

Tea House MUSICA 堀江敏樹

1970年の万博、1971年紅茶の輸入自由化の時期に、本格的に紅茶の商いを初めて約40年になります。

万博を契機に紅茶の原産国(インド・スリランカ等々)は日本の経済成長を当て込んで積極的にプロパガンダを開始しました。紅茶の商いを長期に渡り継続するために必要なことは、その流通の仕組みを勉強する視点から、紅茶の原産国・消費国に行くことが重要課題です。日本は消費国の立場なので、私は原産国よりも消費国に先に行くことを決めました。

ところで、紅茶の消費国と言えば必ず世界最大の消費国であるイギリスが挙げられます。結構今でも紅茶と言えば必ずイギリスがもてはやされます。中にはイギリスが紅茶の原産国と思っている人がずい分多くおられます(最近では温暖化のためイギリスでも多少紅茶が生産されています)。そこで私は、あえてニュージーランド(以下NZ)を消費国の勉強のためのターゲットとしました。その理由は、まず、日本で知り合った紅茶好きの友人がNZのAucklandに住んでいること。第二の理由は、NZがオーストラリア・カナダと同じ旧英領から、英連邦であること、そしてNZの国づくりが主にスコットランド人によって行われたことです。その上、人口



Bell Tea の工場(Auckland)にて、当時の Bell Tea 社長と筆者

が少ない割には一人当たりの紅茶消費量がイギリスに引けを取らないくらい多いことです(年間一人当たり!、200杯)。

イギリスはグローバル化の負の影響と、特に London は移民が多いので、伝統的なイングリッシュテイ習慣がないがしろにされていることがあります。私にとってNZを勉強の場にしたことは正解でした。中でも最もラッキーであったことは、NZ最大の紅茶会社 Bell Tea の社長を、友人を通じて紹介してもらったことです。(残念ながら、R.Gapes氏は2009年に逝去されました。ご冥福をお祈りします。)

私の初めてのNZ訪問(1972年)以来、彼の退職後も長く紅茶人間としての友情が続きました。披から得たNZの紅茶消費全般の知識は膨大なもので、今の仕事にずい分役立っております。南島のDunedinにBell Tea創業以来の社屋が、今もBell Tea発祥の地としての役割を果たしております。Dunedinは紅茶を勉強するのに一見の必要がある町です。イギリス以上にイギリス(スコットランド)的な学園都市(オタゴ大学)で、紅茶に関しては色々な面で今でも伝統が固守されております。北島Aucklandには近代的な工場があり、Bell Teaの物流の心臓部になります。ちょっと専門的になりますが、Bell Teaには強力な競合ブランドのChoysa Teaの存在があります。どこの家庭を訪問してもキッチンには日常茶としてどちらかのブランドが置かれています。ちょっと紅茶にマニアックな人のいる家庭では、英本国のTwinning等のSpecial Tea(Earl Grey、Lapsang Souchong)を楽しんでいます。

NZの日常茶のブレndingは、すべてイギリス人ティーテイスターの伝統的技術を引き継いだティーテイスターによって行われます。その原票の産地はインド・スリランカ・中国は勿論、日本ではとても考えられないパプアニ



Dunedin(南島)にあるBell Teaの創業当初の事務所兼工場(1924年創業)。現在もこの古い建物がそのまま使われている。

ューギニア・アルゼンチン等々で、それらをブレndingして One quality ・ One price なリーズナブルな価格の日常茶に仕上げ商品化します。面白いのは、Bell Teaの場合、主商品以外に地区住人の嗜好を考慮してブレndingを変えます。NZで販売されている Tiger Tea、Edglets、Amber Tips 等々はそれに該当し、マオリの人達が大勢いる地区をターゲットにしてお

ります。

最近では、複数の原産国の原茶がブレンドされた商品以外に、セイロン紅茶 100%、ケニヤ紅茶 100%といった紅茶がスーパーで人気があります。また、情報のグローバル化とインターネットの普及で、世界のどここの国にでも流通している紅茶の商品(フレーバーティー、茶園・季節別)をNZでも見かけられるようになりました。そして、Loose tea(リーフティー)よりも圧倒的に Tea Bag の消費が増えました。

今回はもっとホットな NZ に関する紅茶情報をお知らせします。もしNZに行かれたら、是非NZにおける紅茶消費にも目を向けて下さい。紅茶の本場イギリスよりも面白いかもしれません。案外 NZ の旅から帰ってみて、NZ 人って本当にいつも紅茶を楽しんでいるんだなと気付かれると思います。

「Goodnight Kiwi」

永田美夜子

40周年祝賀会にご出席された方は、マオリソング「ヒネエヒネ」の楽譜ページにキウイのイラストがついていたことを覚えておいででしょうか？ 何故ここにキウイが？ 疑問にお答えしましょう。(誰も思っちゃいないって??)

1993年当時、ニュージーランドのテレビ局はローカルのケーブルテレビを除いて3局だけでした。このうち国営のTV1とTV2が深夜の放送終了時にキウイのアニメーションを流していたのです。そのBGMがマオリの子守歌「ヒネエヒネ」でした。

テレビ局のスタジオで仕事を終えたキウイが電気を消し、ミルクボトルに代金を入れて玄関先に出し(NZ的でしょう?)、階段を上がり、テレビ塔のサテライトアンテナのベッドに入ってお布団をかけたところ(右図)で、「Goodnight from TV New Zealand」とテロップが入って放送終了でした。今でもヒネエヒネを聴くと「寝なくちゃ!」と、つい思ってしまう。パロディー版が出来たり、絵本があったりと、この Goodnight Kiwi はニュージーランドで人気のキャラクターでした。



1994年10月に24時間放送開始で Goodnight Kiwi がなくなった時はニュースになりました。現在は TV6 で復活しているようです。You Tube でも見られますが、ぜひニュージーランドへ行かれた際はこの Goodnight Kiwi をおやすみなさいの合図にしてみてください。

「NZ大好き」よりNZニュースクリッピング

交通事故死亡者数、NZワースト

国際交通フォーラムが最近発表した 33 カ国を対象にした交通事故死亡者数のデータで、ニュージーランド

はワーストレベルの結果を出していることが判った。

発表の内容は、2つの視点から死亡者数を割り当てており、10万キロ走行につき割り出した死亡者数はワースト7となり、9.1名(2008年)。最も数字の少なかったアイスランドの3.9人と比較すると2倍以上である。最も多かったのが韓国の20.1名、日本は8.1名であった。

人口10万人当たりで割り当てると、昨年データでは8.9名で、9番目に悪い数字となった。マレーシアが最も悪く23.8名、イギリスが最も良く3.8名であった。

社会 2010年9月25日

海外投資家による農場の買収に制限

政府は27日、海外の投資家によるニュージーランドの農耕地の買収に制限をかけることを発表し、ニュージーランド農業者連盟も政府をサポートする意向を示した。

最近、国内の農場が海外投資家に買収されすぎている現状で国民の不安は高まっていた。

Bill English 財務大臣と政府は海外投資法を変更すると話しているものの、投資関連でおこりうる様々な問題を考慮するため、ケースバイケースで柔軟に対応していく方針を考えている。

新方針は、今年12月までは施行されないものの、北島にある2万エーカーに近い16箇所の農場の買収をするため既に入札をしている香港の Natural Dairy が今後買収を認められるのかどうか注目となる。

社会 2010年9月28日

ロード・オブ・ザ・リングの監督怒る

オーストラリアに基盤を置く、メディアや映画関係者の共同体、Media, Entertainment and Arts Alliance (MEAA) が、ニュージーランド人の映画監督 Peter Jackson 氏がプロデューサーを務める「The Hobbit」に対して、俳優たちにボイコットを呼び掛けているとして、Jackson 監督は MEAA に反抗する意思を表明している。

「The Hobbit」は、トルキン原作「ホビットの冒険」の映画版。ロード・オブ・ザ・リングを手掛けた Jackson 監督が2007年に制作を発表したが、財政問題や配給元との確執などで制作が遅れている。

MEAA の Simon Whipp 氏は、ボイコットの原因を、俳優たちが「The Hobbit」には、組合が掲げる最低賃金や労働条件に関する協約が認められていない、また売上げの分配がないことなどを考慮した結果だとし、正式な手続きにしたがっての制作を求めていると主張している。

Jackson 監督は、MEAA のボイコットは、ニュージーランド映画産業にとって大打撃であるとし、その憤りを4ページに渡る文書で発表した。彼は、資金元であるアメリカの Warner Brothers が、俳優たちと利益の分配について合意を交わしていると主張。

監督は「The Hobbit」の撮影が中止になれば、ニュージーランドは、何千という仕事、何百万ドルという投資金を失うことになるかと怒りを表している。

芸能/スポーツ 2010年9月30日

Ady Gil 号沈没は自作自演

今年初めに捕鯨妨害事件で執行猶予付き有罪判決を受け、ニュージーランドへ強制送還された Pete Bethune 氏が、例の衝突事故で高速船 Ady Gil 号が南極海に沈没した事件に対し、Sea Shepard の Paul Watson 代表が、沈没劇により、世間の注目を引き She Shepard への寄付金や同情を買うのが目的で、指示したと暴露した。

Bethune 氏は、事故当時、Ady Gil 号は損傷を追いながらも、湾岸までたどり着ける状態であったものの、その後エンジンルームの中にはいり、Sea Cogs を開けボートを沈没させるよう指示があり、それに従ったという。

Bethune 氏は世間を欺いたことに対し、Sea Shepherd を非難すると共に、Ady Gil 号に 100 万ドルを投じたアメリカの実業家 Ady Gil 氏に対し、船を沈没させたことに対し謝罪をした。

この発言に対し、Watson 代表は一切を否定、既に Bethune 氏を首にしている。

社会 2010 年 10 月 8 日

就労ビザの発行数減少

不安定な経済状態下で、移民者たちがニュージーランドの労働市場から締め出されている。6 月締め的一年間では、前年と比べて、就労ビザが認められ発行された数は、約 7,000 あまりも少なくなった。

ニュージーランドは、その人口と不足分野の技能者の増加を移民に頼っている。しかしながら、失業率 6.8% という現状は見逃せず、ニュージーランド人の就労を最優先するというのが、移民局の方針だ。

失業中のニュージーランド人が対応可能な仕事であれば、移民局は就労ビザの再発行も拒否した。経済状態が回復に向かい次第、就労目的でニュージーランドに移住する人の数は、再上昇すると、移民局は見込んでいる。

これに対し、オークランド大学の Sholeh Maani 教授は、移民者数の減少は経済成長を抑圧すると説く。オークランドでは人口の 40%以上が国外からの移住者で、ニュージーランドの労働力の 25%は移民によって担われている。

生活 2010 年 10 月 27 日

2025 年には、ニュージーランドは禁煙国に？！

2025 年までにニュージーランド国全体を禁煙にするこの要請書がマオリ選出委員によって公式に発表されることになった。

現在毎年 5000 人が喫煙関連の病気で死亡しており、禁煙を推奨してきた ASH の Ben Youdan 代表は、これまで政府は税金を上げたり、コマーシャルを流すなど禁煙者の促進に努めていたが、今回のこの要請内容に満足していると語る。

ニュージーランド国内において現在は約 20%が喫煙者で、中でもマオリにおいては 40%近くが喫煙をしている。2004 年には世界で 3 番目としてバー やレストランなどを含む店内、社内での禁煙が法律化された。

生活 2010 年 11 月 3 日

ニュージーランド、生活の豊かさ世界で 3 位

国連は生活品質の高い国として、ニュージーランドを世界 3 位とランキングした。1 位はノルウェー、2 位はオーストラリア。

この調査は国連開発計画 (UNDP) が、単に所得の面からでなく、健康、教育、性的な平等、政治的な自由などの観点から総合的な国民生活の豊かさを評価するもの。評価は国民生活の豊かさを示す人間開発指数 (Human Development Index) に基づく。

1 位のノルウェーは平均余命 81 歳、平均年収は 5 万 8,810 US ドル。

個別カテゴリーにおいては、平均年収ではリヒテンシュタインが 8 万 1,011 US ドル、平均余命では日本が 83.6 歳でそれぞれトップに。

ノルウェーは、いずれのカテゴリーでもトップにはなっていないが、全ての分類において総合的にバランスがとれた指標を示している。今回の年間報告書は、国連開発計画の行う 20 回目の評価結果である。

2 位以下は、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ合衆国、アイルランドと続く。日本は 11 位。

調査対象の 169 カ国のうち、最下位はジンバブエで、平均余命は 47 歳、所得は 176US ドル。

中国、インドネシア、韓国など東アジアと太平洋周辺の国々は、この 40 年間に、他地域の国々と比較すると、圧倒的な成長を見せており、世界の平均成長率の 2 倍の勢いで伸びている。

貧しい国々の中には、所得面では劇的に伸びても、健康、教育面が経済成長に追い付かない国も見られる。

生活 2010 年 11 月 10 日

炭鉱爆発事故、29 名が行方不明

ニュージーランド南島西海岸の Pike River 炭鉱で 19 日に爆発事故が発生、29 名の作業員が地下に閉じ込められた。脱出したのはたった 2 名。彼らは病院で治療を受けている。

残りの作業員の救出作業は 21 夜現在まだ難航しており、長期化する恐れが出てきている。

坑内の有毒ガステストは 30 分毎に行われており、一酸化炭素の濃度がまだ危険レベルにあること、メタンガスの濃度も増えていることから、坑内で何かが燃えている可能性があることがわかっている。

閉じ込められた 17 歳から 62 歳の作業員からの連絡は事故後途絶えており、捜査当局では通気孔近くに避難場所を発見し、壊れたコンプレッサーのパイプから新鮮な空気を得ていることを願っている。

地下には飲料水用の水源があるほか、作業員らがいくらか食料を坑内に持ち込んでいる可能性があるともみられている。行方不明となっているのは 24 名のニュージーランド人、2 名のオーストラリア人、2 名がイギリス人、残り 1 名が南アフリカ人。

社会 2010 年 11 月 22 日

第 224 例会 創立 40 周年祝賀会



会場の様子 74名が参加しました。



ステファン・コーベット一等書記官より熱のこもったスピーチを頂きました。



協会の発展と病氣療養中の英理事の1日も早いご回復を祈念した柳田名誉会長による乾杯



日本ニュージーランド協会の柳会長のご挨拶



王石明先生の水墨画パフォーマンス



川瀬家のご挨拶



「なごみ」の皆さんによる演奏を楽しみました。



NZ 大使館紋章入りワインを頂きました。

